

令和7年11月定例教育委員会会議録

○日 時 令和7年11月19日（水） 午後3時00分～午後3時30分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 成澤 和則

1番 百瀬 克浩（教育長職務代理者）

2番 佐藤 涼子

4番 小林 真貴子

○欠席委員 3番 中村 公俊

○出席議事説明職員氏名

教育部長	白幡 有	管理課長	石川 聰
管理課主幹	伊藤 智康	学校教育課長	秋山 尚志
学校教育課指導主幹	落合 正幸	社会教育課長	五十嵐 依久子
参事兼藤沢周平記念館長	沼沢 紀惠	次長兼スポーツ課長	阿部 三成
中央公民館長	観世 安司	図書館長	五十嵐 恵子
給食センター所長	大塚 昌史		
櫛引庁舎総務企画課長(併)社会教育課主幹	遠藤 直樹		

○出席事務局職員氏名

管理課課長補佐 上野 美嘉

【会議次第】

1 開会

2 協議

日程第1 教委第4号 委員の議席の決定について

日程第2 教委第5号 教育長職務代理者の指名について

3 市民憲章唱和

4 会議録署名委員の指名

5 議事

日程第3 議第32号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について（非公開）

6 報告事項

（1）指定管理者の指定について（鶴岡市文化会館）（非公開）

（2）指定管理者の指定について（鶴岡市櫛引生涯学習センター）（非公開）

（3）藤島地域義務教育学校整備の進捗について

（4）その他

7 閉会

開　会（午後3時）

教育長　　本日の会議は3番中村委員が欠席である、定足数に達しているので、ただいまから11月の定例教育委員会を開会する。

はじめに、先の9月市議会定例会において議会の同意をいただき、11月12日付けで、百瀬克浩委員が教育委員に再任された。百瀬委員より挨拶をお願いする。

百瀬委員　（百瀬委員挨拶）

教育長　　引き続きよろしくお願ひする。

それでは教委第4号委員の議席の決定についてお諮りする。この度の百瀬委員の再任に伴い、教育委員に変更がないことから、委員の議席番号については、これまでと同様としてよろしいか。

各委員　　異議なし。

教育長　　異議なしと認め、議席番号については、これまで同様とし、百瀬委員の議席を1番とする。

次に、教委第5号教育長職務代理者の指名についてお諮りする。

教育長職務代理者については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条に規定があり、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめ教育長が指名する委員がその職務を行うとされている。については、教育長職務代理者に引き続き百瀬委員を指名させていただく。

1番委員　了承。

教育長　　今後とも、よろしくお願ひ申し上げる。それでは、市民憲章唱和を行う。

（中央公民館長が先唱し、市民憲章唱和）

本日の会議録署名委員は、4番委員にお願いする。

本日の議事について、議第32号から報告事項（2）までは議会に上程される前の議題のため、非公開とすることにご異議ないか。

各委員　　異議なし。

教育長　　異議なしと認め、議第32号から報告事項（2）までを非公開とする。

（会議録は別記録とする）

教育長　　続いて報告事項（3）について、事務局より報告をお願いする。

藤島地域における義務教育学校の設立と早期統合開校に関する地域説明会を、3回、10月28日の渡前地区地域活動センターから11月4日の藤島地区地域活動センターまで、それぞれの小学校区ごとに開催した。

この開催にあたっては、これまで実施した、保護者説明会並びにアンケート結果を地区の方々に説明し、それに対する皆様からの意見を伺った。

次に、主な意見について、統合時期判断に関する意見としては、「高学年の

保護者は在学途中の変更を嫌う傾向があるのではないか」や「令和 11 年度の統合でも遅いと感じる。」「保育園では友達が多かったが、小学校では少人数になってしまうので、できるだけ早く統合して欲しい。」というような意見があった。学習環境、複式学級への意見としては、「少人数で集団生活が学べない。」「保育園で一緒だった子が分かれることへの不安があるので、統合を早く進めるべきではないか。」というような話があった。次に、子供の心のケア・移行不安に関する意見としては、「少人数から大人数への移行に不安を覚える児童がいる。」それに対して、「学校間交流を増やすなどして安心して通える工夫を望む。」というような意見をいただいた。その他、校舎や通学など、また地域連携等について、それぞれ意見を頂戴した。

次に、藤島地区地域活動センターにおいて、「こんな学校だったら、もっと楽しい！～ぼくたち・わたしたちの“未来の学校”を考えよう～」という、小学校と中学校の児童生徒達を対象にした、ワークショップを開催した。参加者は 7 名で、藤島小から 2 名。藤島中から 5 名の生徒が参加した。

内容は、ワーク 1 として、今の学校に対し、「評価されたいいところ」で、「学年による壁がなくて、地域の繋がりが強い」や「給食が美味しく、みんなで食べる時間が貴重な交流の場となっている」という意見があった。一方で改善要望があった点では、安全面、快適性の課題として、校舎や設備が古いため、壊れているという意見や、学習環境の課題として、教科によっては使う教室が利用できない。これはエアコンが一部設置されていない教室があるため、本来と異なる教室を使って授業をしている実態による意見であった。また、時間設計の課題として、「先生ともっと接する時間が欲しい」や、「休み時間が短く、できることが限られている」というような話があり、全体を通して、人間関係は非常に良好であるが、学習環境や時間配分について意見があった。

次のワーク 2、未来の学校を考えるということで、ワーク 1 を踏まえてどんな学校を希望するか意見を伺ったところ、1 つは移動教室制の導入で、教科に適した環境で学習して、教室を移動することで、気分転換も図られるのではないかといった意見や、リフレッシュゾーンの確保ということで、図書館とは別に静かに休めるような場所があればよい、というような話。あと飲食可能な自習室ということで、食事ほどでなくとも、軽食を取りながら友達と話せるような空間があつたらいい。という話があり、全体を通して居心地の良さと、その他には集中して勉強したり、友達と話をしたりできるような空間が欲しいというような、情報があった。

教育委員会としては頂戴した意見を踏まえて、子供たちにとって望ましい校舎の検討を今後進めていきたいと考えている。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

1 番委員

地域説明会での主な意見の中で、保育園で友達が多かったが、小学校は少人

数であるので、統合を早く進めるべきだということで、いろんな意見が出されているが、こういった意見は、以前の説明では、低学年や未就学児を抱える保護者の方などにこのような意見が多いようだと聞いていたが、そういう形での捉え方でよろしいか。

管理課長

その通りである。皆、自分のお子さんが、今何年生であるというような話をされ、その中で特に小さいお子さんを持つ方からは、やはり早めに統合をして複式学級を解消して欲しいというような意見が多く寄せられた。

一方で、自分たちの子どもが中学生や高学年だという親御さんは、そこまで早期の統合を望むという様子ではないように受け取ったところである。

実際に、現在複式学級に子供が在籍している保護者の方も参加しており、小学校に入学して複式学級でしか自分の子供の様子を見ていないので、分からないうことで、早く複式学級を解消して欲しいという意見を述べられた。

教育長

他にあるか。

1番委員

ワーク1について、このようにワークショップで色々と子どもたちの意見を聞くのは非常にいいことだと思った。改善要望の課題点に挙げられた、「休み時間が短くできることが限られる」というのは、どういうことか。

管理課長

休み時間がもう少し長ければ色々なことが出来るが、休み時間が短いため、その短い時間の中では、遊びや、友達との交流など、そういった部分が、限られてしまうというような意見であった。

1番委員

休み時間がもっと長く欲しいというような意見ということか。了解した。

教育長

他に質問、意見はあるか。

4番委員

早期に統合することになった場合、藤島小に全部が集まると思うが、ワーク1改善要望の安全面、快適性の課題のところで、校舎の設備が古い、壊れているというのは、藤島小か、藤島中か。

管理課長

そちらは藤島中の話である。何年か前、天井の壁が少し落ちたことがあったため、その辺を早く改善して欲しいという話であった。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ、ほかに報告事項はあるか。なければこれをもって11月の定例教育委員会を終了する。

閉　　会（午後3時30分）